

静岡県西部地域しんきん経済研究所トピックス

2008年1月25日

景況レポートの発刊について

静岡県西部地域しんきん経済研究所（理事長 山本長行、以下県西部しんきん経済研究所）では、「景況レポート」を発刊することとなりましたのでご案内します

1. 冊子概要

冊子名	「景況レポート」
内容	四半期ごとに行う景気動向調査と時勢にあった特別調査の結果を掲載
発行サイクル	年4回 1月、4月、7月、10月

浜松信用金庫が行っていた景気動向調査を引き継ぐものでありますが、下記の点に特徴があります。

- 浜松信用金庫の取引先（457社）に加え、新たに遠州信用金庫の取引先（179社）も加わったことで県西部地域の状況をさらに正確に反映する指標となりました。
- D Iによる時系列観察に加え、「調査員のコメント」では中小企業経営者の生の声を多く掲載することで、数値では読み切れない景気の動きがつかめるようにしました。

2. 今回（19年10～12月期）調査結果（詳細は別添資料をご参照ください）

①平成19年10～12月の景況について

業況D Iは前回調査（浜松信用金庫単独調査）よりも小幅ながら改善しております。売上額D Iも改善傾向を示しており、10～12月にかけては県西部地域の景況は良かったといえます。

②平成20年1～3月期の見通しについて

1～3月期にかけては前期よりも悪化を見込んでおり、先行き不透明感が漂っています。

③業種別の動向

業種別にみると、製造業、不動産業の景況感が相対的に良く、卸売業、小売業、建設業は低迷しております。

調査員のコメントでは、景況感の良い製造業でも原材料高の影響に苦慮しているようです。また、建設業では改正建築基準法の影響で売上が落ち込んでいるとのコメントが多数みられました。その他、不動産業では商品物件の動きが活発になっていることがうかがえます。

なお特別調査の「平成20年の経営見通し」はすでにプレスリリースを行っております。

本件のお問い合わせ先

432-8501 浜松市中区東伊場2-7-1 浜松商工会議所会館3階

静岡県西部地域しんきん経済研究所 富野

TEL・FAX 053-452-1510